

令和元年度 北毛地区小学校体育科授業研究会レポート

期日 令和元年 10月30日 (水)

会場 沼田市立薄根小学校

単元名 ソフトバレーボール

指導者 菅原 裕子

今年度の北毛地区授業研究会では、沼田市立薄根小学校の菅原裕子先生が授業を提供してくださいました。今回取り上げてくださったのは、6年生の「ネット型 ソフトボール」です。授業は、学習カードや教材などや学習の場の設定がしっかりとされており、児童が主体的に動く姿が見られた授業でした。

6年生が、「メインゲーム」の攻め方を話し合う中で、作戦やボードを使って話し合いを進める中で意欲的に運動に取り組む姿が印象的でした。



準備運動やパス練習はチームごとに行い、チームワークを意識させ、児童が主体的に活動しました。



最高学年として学習に対する姿勢が整っていて先生の指示をしっかりと聞いています。

本時のめあては「チームに合った作戦を選び、工夫して練習やゲームをしよう」です。

高学年らしく、先生の指示を聞いてチームごとに作戦を選び、工夫や練習を行いました。



ドリルゲームでは、三角パス、トスアタックゲームを行う。三角パスゲームでは継続的に記録し自分たちで確認できるようにしました。また、タスクゲームではチームの課題に応じてセットプレーの練習を行いました。

実際に「ゲーム」を行いました。まず、チームで作戦を確認してメインゲーム1を行いました。試合に出ていない児童には、三段攻撃ポイント(ボーナスポイント)をつけさせ、チームの動きを見させて後半のゲームに生かせるようにしました。



メインゲーム1が終わったあとは、チームごとに作戦が上手くいったことや課題を作戦ボードなどを使って伝え合いました。反省や新たな作戦を選んでメインゲーム2に取り組みました。



学習カードを参考にしてチームごとにゲームの振り返りをしました。話し合ったことをチームの代表が発表し、チームの作戦を達成するための動きができたかを全体で振り返り授業が終了しました。

この授業は、体育授業プログラムを活用することによって全員がゲームに参加し、楽しく学習を進めるのに大変有効であったと考えられます。また、新教育課程で言われている主体的な学びを引き出す工夫や対話を通して、思考の深まりや技能の向上につなげる工夫が随所に練り込まれ、先生の分かりやすい指示、よく練られた場の設定で子どもたちが自分で考えて自ら活動する姿が印象的な授業でした。授業を提供してくださった菅原先生、沼田市立薄根小学校の先生方をはじめ、研究会開催にご尽力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(文責 沼田市立川田小学校 阿部貞治)